

【問8】問7で「しない」の場合、その理由をおしえてください

1	自主防災会の役員は町会等の多組織の役員兼務者が多く、現状で訓練回数を増やすのは検討が必要となる。
2	日程の調整、訓練の準備、役割の分担決めなど多くの労力がかかっているため
3	年間に一度が限界です
4	理事の任期が2年で短く、計画的な実施が難しい
5	訓練内容が同じになるため、参加者を望めない
6	年2回以上訓練を行っており、活動助成の有無により実施回数に影響はない
7	参加者が少なく、現在町会員の方に協力をお願いしています。現状は役員参加が主体の為に、厳しい状況にあります。
8	「する」か「しない」かの2択であれば、「しない」と答えるしかない。決定しているわけではなく、対応できるかどうか検討が必要。理由：人手不足、参加者が少ない、日程調整が難しい
9	参加者の確保に不安がある
10	当自治会は避難所運営委員会に属しており、年1回の避難訓練に参加している。新型コロナの感染対策による対面活動の自粛期間が長き、その間も地域の高齢化も進み、自治会の会員数も減少傾向で自治会活動は低調となっている。役員が不足しており役員の兼務多くなり、人的資源不足を実感しているなか複数回の訓練は現時点では難しい。
11	当組合の理事は毎年変わるので次期からどうするかはその年によるのですかもしれませんが、通例年1回の為
12	回数が増え会員の負担が大きい
13	計画、実施に余裕がない
14	参加者が少ないため、1回で充分と考えられる
15	高齢化が進み自治会会員の参加意識が低い。仕事をしている人が多く活動への参加意識がない。自主活動と聞いて何をすれば良いのかわからない人が多い
16	1) 助成金あり、無しでの企画ではない 2) 高齢世帯が増え、参加率が落ちてきている
17	今までに区内では行ってないので、1年に2度というのは厳しいです！ 地区防災として参加しています！
18	当団地では高齢化が進み、団地内での訓練に人が集まら無いので。地区の訓練には防災役員2名のみ、毎年2回参加してます。
19	実施する場合、具体的にどのように進めて行けば良いか不明のため。マニュアル等の、自治会向けの資料があればイメージが付きやすい。
20	避難所運営で地域の避難所訓練を行っており、当自治会は世帯も少ないので、複数回となると参加する人数が少ないことが予想されるため。
21	高齢化により町会の活動が活発でない。また、役員が仕事だったりする。
22	なかなかひとがあつまらない
23	地域のイベントが多く対応が厳しいため
24	「する」に回答すべきかもしれませんが・・・ 助成がなくても2～3回はやります
25	人手が足りず、2回以上の実施は困難です
26	参加人数が少ないので2度やる必要性を考えません
27	自治会の高齢化に伴い参加者が少なく 役員の確保が難しくなって来ていること、また訓練の実施場所確保が難しい
28	自主防災会としては年1回としているが、複数の避難所運営に参加している
29	町会独自の訓練は、無理である
30	参加者が集まらない
31	高齢化が進んでおり、訓練等の告知をしたとしても、ほぼ参加が期待できない
32	参加人員がそろわないが見込めない
33	助成に関係なく、当自治会では年2回以上の訓練を計画し実行している
34	高齢化等が進み自治会の活動が活発でないから

35	年1回の訓練としているので
36	高齢の方が多い為
37	助成対象が狭いため、訓練をするたびに経費がかさむ
38	全世帯ではないのですが、高齢化となり集まって訓練等する事が、体力的に中々難しく無理です。町会会員もどんどん少なくなってしまう、フットワークのよい若い方が入会してもらえない為、町会では出来ません。本来ならば、年に2回位はって私は考えてはいますが、本当に高齢者しかいないので、この先も無理だと思います。
39	他の行事もあり、複数回は参加者の負担もあり年1回程度が妥当と思われる
40	スケジュールが確保できないので
41	<ul style="list-style-type: none"> ●会員の高齢化により、参加を強くすすめられない ●実施会場の確保が難しい ●コロナやインフルエンザ等の流行に敏感な社会状況がある
42	準備が大変なので
43	手続きが面倒!
44	自治会行事が多く複数回行う事は難しい
45	助成するから訓練を行うと考える発想は税金の無駄使い。市職員が、各地域・自治会の為に具体的な訓練で汗をかいた事が有りますか。毎年毎年ただ文書を送って事務分担完了。人を動かす提案・行動は助成金の問題ではない。防災会・自治会で、未加入者や外国人居住者は、自治会では対応出来ない現状に対し行政としての対応はなされているのか否かそれ等の情報は共有されているのか否か
46	自治会の構成員、役員とも高齢者ばかりで、行事の削減を進めている
47	同じ内容では年1回で十分
48	必要性は認識しているが参加者が少ない
49	自治会活動自体が年に二回しか行われていない上、増やす予定もないから
50	助成に関係なく、必要があれば実施するため
51	高齢者世帯と賃貸入居者がほとんどのため
52	当方、分譲マンションの自主防災組織として活動しており、住民の消防訓練等への参加状況などを鑑みた場合、消防計画にある二年に一回の訓練が妥当と判断できる為
53	・2回以上実施しても、住民の参加者が少ないと思う。 ・企画・準備を行う役員の負担が大きくなる
54	<ul style="list-style-type: none"> ・申請手続きが大変 公園（避難場所、消防訓練等）の占有申請、消防署への訓練申請、助成金の申請 ・居住者の高齢化により年に何度もできない（本当は、年2回位はやったほうが良いかもしれないが・・・）
55	最近の夏場の暑さの気候状況、まだ治らないコロナの感染リスクを考えると、秋頃の年1回の訓練で十分と考える。また、当地は地盤も固く、洪水や津波の心配があまりないので、地域住民の訓練参加率も年々減少傾向にあるため。
56	年1回で充分と思います
57	自治会での防災訓練はコロナ禍を除き年1回行われています
58	年3回以上の訓練を実施したいところであるが、自治会員の関心、役員の訓練に係る業務負担から年2回が限度である
59	助成金が目的ではないし、回数を増やすことで参加者の訓練なれのような意識が生まれることが考えられる。また、訓練を運営する役員の負担が増えると輪番制で成り立っている防災会では役員の出席状況も悪化することが考えられる。
60	居住者が高齢者が多く活動が困難であるため
61	準備と段取りおよび打ち合わせ等が大変で時間がかかる
62	自主防災会以外での訓練に参加し、その情報を共有したり文書での危機管理説明をしている。高齢者が多いため中々難しいと思われる。

63	<ul style="list-style-type: none"> ・当マンションではあまり多くの参加者が期待できないため、複数回行うとかえって参加者数が分散する恐れがある ・また防災訓練は理事会が中心に行っているが、複数回行うと理事会当の負担が増えるという認識になり、それだけでなくも理事の募集が簡単ではないため、防災訓練は最小限にした方が良いと今の時点では判断している
64	高齢者が多く難しいから
65	特に補充するものはない為
66	助成額が少ない
67	自治会内で参加者がいないため
68	役員負担が大きい
69	時間がなかなか合わない
70	正直、当マンション住民の防災に関する意識が低い
71	人が集まらない
72	自治会全体での訓練は事前準備等に時間や労力を要する為、年に一度の防災訓練が限界であると思う。 当自治会では当該年度の役員をサポートして下さる支援委員の方がいらして、毎月その方が防災機器点検をする際に訓練もされているようで、そういった活動にも補助金を出してほしいということだった
73	防災資機材の備蓄、整備のみ
74	参加人数が少なる可能性があるため
75	訓練の為の準備が中々出来ない、訓練内容がマンネリ化して人が集らない
76	担い手不足(時間・体力)
77	<p>防災のための活動は、訓練という名前の活動に限られません。学習であったり、体験であったり、マニュアルを作成したり、近隣の方と知り合う機会をつくるなど、お金がかかるとはかぎらないわけです。</p> <p>助成金がいわゆる訓練という名目でしか下りないのであれば、何回もらっても、活用できるとは限らないと思います。それよりも、アドバイザー派遣や、先進的な活動をおこなっている団体の紹介、招致、近隣の防災会や自治会との交流事業に注力するような行政の取り組みを期待します。</p> <p>今まで評判のよかったお金のかからない企画としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会の班ごとにあつまって、防災袋をもちより、各家の防災に対する準備状況の意見交換としたこと ●防災ウォークラリー 町内とその周辺を歩き、防災無線、消火栓、A E Dのある場所などの確認を行ったこと ●朝、町内をマイクを積んで自転車で走って回り、防災訓練があることをしらせたこと ●防災倉庫にある備品を公開して見せたこと ●A E Dのやり方を消防署の方におしえてもらったこと <p>また、お金を使うとしたら、家具転倒防止のために、地域ごとに作業できる人材を育成することに使って、一刻も早く、どの地域のどのお宅も家具の転倒で人命が損なわれることのない千葉市にしてほしいです。</p> <p>現在の家具転倒防止補助制度は、建築関係の専門業者が請け負っているため、とても高価であり、手続きも煩雑で、誰もが使える制度だと思えません。</p> <p>防災訓練に今以上にお金をかけるより、人命を救うための家具転倒防止を最優先にすべきと思います。</p> <p>さらに、今助成金をいただく立場として、改善してほしいのは、訓練後、お金をいただくまでに多くの日数を要することです。年度の後半で訓練をする場合、会計年度末が迫っていて困ることが多いです。使ってから請求ですので、多額の立て替えは市民の負担感が大きいです。</p> <p>以上、よろしくおねがいたします。</p>
78	マンション内の年間予定があるため
79	訓練をする余力がない
80	担当理事が毎年変更されるが、理事の職種や休日などにより複数回開催が難しい場合もあるため。また、年1回の開催でも参加者が少なく、参加者にもあまり変化が見られないため。ただし、理事の職種、取れる時間、自治会との分担など、状況や工夫次第では複数回実施の可能性もある。
81	時間がかかり、人が集まらない

82	自主防災会のメンバーが高齢化しており、年に二回以上の訓練は難しい。現在若年層のメンバーを募集中であり、組織の編成を見直している。
83	自治会行事が多くて訓練計画、実施は1回出来るのが限度となる
84	訓練の企画をしても、参加者を集めることが困難であるため
85	世帯数が少ない為、人数が確保できない
86	高齢化に伴い、参加者が見込めない
87	訓練参加者が高齢(60歳~80歳)且つ女性中心で、「行動や安心確認」の為の参加目的が多く、積極性に欠け、年1回にしてほしいとの意見もある
88	必要と考えない
89	町内行事が多い為、日程調整が難しく参加人数の現象が予想される為
90	1. 自治会の役員が輪番制のため継続した活動が出来ていない 2. 自治会会員が高齢が多く野外活動がしにくい 3. 立地条件が比較的高台で道路幅も6メートル有災害意識が低い 4. 防災活動をするための手順とかメニューが分らない
91	現在、防災部長、防犯部長をしております。 ここ数年、自治会役員選出も困難な状況が続く中、2024年度(令和6年)は役員等(会長・各部長・各班長)の業務軽減を実施してみて問題があるかどうかを検証することとなりました。他の地域でも同様に役員選出等が難しい状況にあると聞いています。マンション住居者の役員選出と違い戸建て住宅住民の環境も変化が続いているような気がします。 今後を見据えると自治会が消滅してしまいコミュニケーションが無くなると住みやすい街づくりは心配になります。自治会をサポートする上でも行政・警察等との連携が必要だと思えます。
92	代替わりの時期と猛暑を避け秋以降に実施するとして、複数回の実施は困難と考えます
93	防災訓練は準備から打合せ等、日数や手前がかかります。同じ内容で2回/年実施は、その他の自治会活動などと合わせるとかなりハード。防災会=防災訓練=防災会役員=自治会=自治会役員 とやっている母体は一緒。
94	面倒くさい
95	通常年2回の予定で6月と11月に行なっています
96	一般会員の防災意識が希薄であり参加者も少ない。防災部員中心の訓練となっており、部員も高齢化して負担に感じている。複数回の訓練は必要と感じているが、費用の助成によって解決するものではない。
97	長期にわたり防災訓練等を行っていないので、訓練を行うには自治会内での十分な検討が必要で、条件次第で訓練を行うと回答できる状況ではない。
98	地域の訓練に参加
99	助成は有難いが、聞けば皆が忙しいと答える状態であり、実施回数を増やすのは難しいと思う
100	年一回の訓練の参加者が少なく、かつ、固定化されている課題があり、その解決が先の為
101	住民が協力的でない
102	日程調整困難な為
103	町内会会員全てを対象とした避難訓練などは、各家庭の都合もあるので、現実的ではない為。 地域の高齢化による実施の難しさもある。
104	今まで、防災訓練は、年1回実施している。参加人数の問題もあり、複数回実施は難しい。
105	次回は6年後の2026年度か2027年度の引き継ぎをしているため
106	コロナ禍から防災訓練は無事ですオアル安否確認と防災倉庫の在庫確認のみの実施になっております。実際地震発生時に三役、組長、自治会員など職場にいる可能性もある訳で救護出来るのかという意見もあり、避難所、地域の防災情報などを発信していく形に移行しつつあります。小学校避難所訓練が合同で今年は開催予定なので、町内で案内し参加する予定です。
107	自治会役員は毎年交代しており年度事業計画を立てています。複数回の訓練も自治会内で検討しなくてはならないので今回は【しない】で返答させていただきました。
108	高齢化

109	高齢者が多いため
110	開催する余裕がない
111	防災意識の啓発が必要
112	年1回の訓練で必要な訓練ができている
113	起震車、消防、訓練場所の3つを同時に確保するのは困難だから
114	具体的な訓練方法が分からない。地域で行政が主導で行ってほしい
115	助成回数とは関係ないから
116	防災組織の体制が少人数、高齢化しており、1年度内に2回以上の対応はワークロード的に難しいため
117	企画する事、人を集める事が難しいため
118	自治会内でお声かけしても、皆さん多忙により集まれないことが想定される
119	時間がない
120	日程が取れないため
121	日程を調整するのが難しいと思われる
122	一回ならば可能ですが2回ですと自治会の負担増となります
123	1年間で 何度も町民を集めて 実施する事が 非常に 厳しい
124	現在 みなし自治会加入の検討 防災担当のマンション管理士の採用等 防災組織の再構築を始めたばかりであり防災体制の再構築が整い次第 複数かの訓練を検討したいと思います
125	地区防災訓練と連携して行った方が効果的。起震車体験、消火訓練は秋祭等集客力のある自治会行事の中で行いたい。
126	高齢化が顕著でること、共働き家庭では休日にも仕事を持つ人ばかりであること、などの理由から参加者が少ないため
127	全住民参加での実施が困難のため
128	段取り、申請などが煩雑なためマンションなどに本当に必要な防災計画など、実践的なものがあれば良いと感じている
129	準備にかかる時間や労力不足
130	来年は担当が違う人なので判断できない
131	自ら主催する防災訓練は年1回で精いっぱいであるほか、他の防災訓練（避難所運営委員会、磯辺地区防災訓練）に参加していることから
132	母体である自治会が無くなりそうなのではっきりとした活動が出来ないから
133	年一回の避難訓練と消火訓練しかしていない
134	まだ組織の構成員が少なく、対応しきれない
135	小規模マンションで子供たちが成長し消防訓練の参加人数が減少しているので複数回訓練を実施するのは難しい
136	一回で十分。複数実施するにあたり、意義があれば、2回も検討します。
137	準備の余裕がない
138	活動助成は、防災訓練時と5年に一度の10万円の資器材助成申請をしています。 他の活動はしているが、防災訓練を2度開催する余力はないため。他に助成対象項目があれば、申請は検討します
139	高齢者が多く訓練が困難
140	理事会で決まっているから
141	自主防災会単独で行う訓練は準備と要員が必要であり、支援金が欲しいからやるわけでない、回数が少なくても、充実した訓練を実施したい、それと、防災会の役員の高齢化の問題もあり、質の高い訓練を集中してやりたい
142	確約では無いというだけで、場合によっては管理組合だけなども含めて2回開催はあるかと思えます
143	年一回で充分と考えている。自治会防災会の役員の訓練以外の負担も大きく、又、役員、住民の高齢化が進んでおり、複数回の訓練は難しい。また、弊自治会防災会は地域避難施設に認定されており、訓練とは別日程で運営委員会を開催しており、その場で地域避難施設の開設、運営に関する確認を行っている。